

# 竹原管内景況調査

## 6月の景況DIは、製造業・非製造業とも悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

### 調査概要

【調査時期】  
四半期毎に調査(年4回実施)  
【調査期間】  
令和元年6月  
【調査対象】  
当所会員

### 回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	13
建設	6	3
小売	13	7
サービス	17	9
合計	53	32

## ●全産業におけるDI値

景況DIの推移



3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は15.4ポイント悪化し、非製造業は10.5ポイント悪化しています。6月と比べて7月～9月までの見通しは、全体では、10ポイント悪化しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

## ●景況が好転(悪化)した理由について

### 《製造業》

- ・受注額が減少。
- ・日中の貿易摩擦が大きく影響し、取引先の調達が減少している。

### 《小売業》

- ・顧客の高齢化による購買意欲の減少。高額商品の販売減のため。

### 《建設業》

- ・災害復旧工事が内容の良い価格で受注できているため。

## ●2019年度の業界動向の見通しについて

### 《製造業》

- ・原材料の価格は上昇する一方、販売価格への上乗せはできない。

### 《小売業》

- ・メーカーの値上げに伴って、販売価格へ移行している。
- ・転嫁できるものは、出来るだけ価格を上げている。

### 《サービス業》

消費税の増税を機に販売価格及びサービス内容の見直し、改定する予定

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)